

令和3(2021)年度新規拡充魚種作業状況報告書

ブロック：東シナ海ブロック

8. タイワンガザミ・熊本海域

海域	熊本海域	参加機関	熊本県
----	------	------	-----

(1) 調査の概要

- ・機構は、調査指針および状況報告書を取りまとめた
- ・熊本県は、生物情報収集調査を担当した。

(2) データ収集状況

- ・県内2漁協における2016年～2021年の日別取扱データ、県内1市場における2019年～2021年の日別取扱データを収集した。
- ・県内主要1市場において、2020年度に59個体、2021年度に42個体の全甲幅長測定、雌雄判別を実施した。

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：浅海の砂・砂泥底に生息し、山形県～山口県・玄界灘・五島灘～薩南海域、東京湾～鹿児島湾・沖縄・八重山列島、台湾・インド太平洋・ハワイ沿岸に分布（三宅 1983）。
- (2) 年齢・成長：熊本県海域の情報なし。沖縄県海域では、3～5月に産卵されたものは7～9月に成熟サイズ（生物学的最小形）である全甲幅長 100 mm に達する（諸喜田 1988）。オーストラリア西部では、約1年で全甲幅長 110～125 mm に成長する（Potter *et al.* 1983）。
- (3) 成熟・産卵：熊本県海域の情報なし。沖縄県海域では、抱卵雌ガニが1～11月に出現し、産卵盛期は3～9月、成熟サイズは全甲幅長 100 mm とされる（諸喜田 1988）。オーストラリア南部では、10～1月に産卵し、産卵期中に複数回産卵する（Kumar *et al.* 2003）。
- (4) 被捕食関係：主要な餌は貝類で、他に魚類やカニ類も捕食する（諸喜田 1988）。

(4) 備考

- ・農林水産統計年報では、タイワンガザミは「がざみ類」に含まれており、タイワンガザミのみの漁獲統計の収集が出来ない。